



↑市内保育園などで開始した
主食の無償提供



↑新たにふるさと納税返礼品に追加した
オリジナルカレンダー



↑入山禁止のバリケードを設置

令和6年第4回鹿角市議会定例会が5月31日から25日間の会期で開かれました。初日に行われた市長の行政報告の概要をお知らせします。

☎総務課 行政班 ☎ 30-0203



鹿角市議会 6月定例会 行政報告

主な内容

- ・大湯大平地区での入山禁止措置
- ・保育料と給食費の完全無償化を実施
- ・省エネ家電購入支援補助金の応募が好調

■山菜採りに伴う

遭難事故などの防止対策

5月中旬に相次いだ、大湯大平地区でのタケノコ採りによる遭難事故では、捜索隊員がクマに襲われるという人身被害が発生したことから、国有林道大平線を立ち入り禁止とし、市道大平環状線の出入り口に入山禁止看板を設置するなどの措置を行いました。引き続き、入山規制や周辺区域のパトロールを継続し、関係機関との連携を強化しながら、遭難事故などの防止に万全を期していきます。

■第7次総合計画

令和8年度からの後期基本計画の策定に向け、今年度は、

■ふるさと鹿角応援寄附

令和5年度は、件数が2万205件、金額が3億8175万292円で、前年度と比較して、件数では8・6%減少したものの、寄附額は13・9%増加し、過去最高となりました。

本市の将来像やまちづくりの基本目標、基本構想の見直しを行います。公募による「かづの未来会議」や将来を担う中・高校生による「かづの未来の若者会議」を開催するほか、新たに若者アンケートを実施することで、若年層をはじめ、幅広い市民のニーズや意見を反映させ、基本構想を取りまとめていきます。

■第147回秋田県種苗交換会
4月25日に種苗交換会協賛事業の実施主体となる「鹿角市協賛会設立総会」を開催し、事業計画などを決定したほか、同日に市協賛会運営本部を設置して運営業務を開始しています。

今回の種苗交換会は、11月

1日から5日間の日程で行われ、県内外から60万人の来場者が見込まれる、地域をPRできる一大イベントのため、関係者と連携を密にし、地域一丸となって準備を進めていきます。

■大型連休中の入り込み状況

前年と比較して、観光施設は約111・5%と増加しましたが、宿泊施設は約90・9%にとどまりました。連休が前半と後半に分かれたことや桜の見頃の時期が例年より早かったことで、宿泊施設の入りに影響があったものと考えています。

連休期間中は、道の駅かづのと道の駅おおゆで各種イベ

返礼品では、新たに、本市が有する地域資源コンテンツを活用し、オリジナルカレンダーを作ることができるサードビスを追加しています。

■住民税定額減税

前年の合計所得金額が1805万円以下の所得割の納税義務者を対象とし、本人や配偶者、扶養親族1人につき1万円の減税を順次実施します。

また、所得税についても、本人や配偶者、扶養親族1人当たり3万円の定額減税を実施し、減税しきれない場合には、定額減税補足給付金を給付します。対象者には通知を送付し、8月下旬から給付を開始します。

■子育て支援

4月から保育料の所得制限を撤廃し、全額助成を開始しています。また、6月3日からは、保育所などに通う3歳以上児への主食の無償提供を開始し、保育料と給食費を完

■企業誘致

神奈川県に本社を置く情報サービス関連企業が、まちなかオフィスに進出しました。企業誘致戦略に基づくアップローチ活動を通じて、本市に興味を示した企業とのオンラインでの意見交換のほか、実際にまちなかオフィスや観光資源の視察、関連企業との交流を行い、本市への進出が実現したものです。

■リモートワークの推進

NTT東日本（株）が、社内研修プログラムとして取り組む「ワデュケーション」を実施し、社員など16人が本市を訪れました。

ワデュケーションは、リモートワークを活用して業務を行いながら、農業体験や観光交流を通じて、地域の魅力や地域課題の探求のほか、関係人口の創出などへの効果検証を行う取り組みで、8月にも実施される予定です。今後も関係者と連携して、持続的な実施につなげるとともに、関係人口の創出と拡

全無償化したことで、就学前の保育費用の負担軽減が図られ、子育てしやすい環境が一層充実するものと考えています。

全ての妊産婦、子育て世帯、子どもの相談支援を一体的に行う機関として、4月から新たに「こども家庭センター」を設置しました。妊娠、出産、子育て期に応じた各種事業を通じて、子どもが成長していく中で家庭が抱える課題の解決に向けてサポートしていきます。

■熱中症対策

フリーングシェルター
熱中症による健康被害の発生を防ぎ、市民の生命を守るため、公共施設と民間施設をフリーングシェルターに指定し、熱中症警戒情報の発表時に施設を開放します。

クーリングシェルターには、市役所本庁舎など8施設を指定したほか、協力いただける民間施設を公募・指定し、官民一体で取り組みを推進します。

大につなげていきます。

■省エネ家電購入支援補助金

5月1日から13日までの募集期間で、定員100人を大きく上回る286人から応募がありました。7月以降には、第2次募集を行う予定であり、今後も市民が身近に省エネ活動に取り組める事業を通じて、脱炭素の啓発と意識醸成を高めていくことで、カーボンニュートラルの実現を目指していきます。

■中学校部活動の地域移行

地域に合った移行のモデル的な取り組みを検証するため、市スポーツ協会と鹿角地区吹奏楽連盟の協力により、実際の活動で生じる課題の把握や分析を行います。

4月には、吹奏楽部を対象に1回目の楽器講習会を開催し、生徒や保護者、指導者からのアンケート結果などを踏まえて検証を進めているほか、運動部活動についても、検証事業を実施します。